

11月 ギャラリー & 県民講座

あびこ市民プラザ
 ◆第61回 我孫子市民文化祭 書道展
 日3日(祝)～7日(休)10時～17時(最終日16時まで)
 問文化・スポーツ課 ☎7185-1601
 ◆第19回 陶炎 チャリティー陶芸展
 日9日(金)～14日(水)10時～17時(初日13時～)
 問高間 ☎7184-5417
 ◆第61回 我孫子市民文化祭 華道展
 日17日(土)～19日(月)10時～17時(最終日15時まで)
 問柴田 ☎7188-7092
 ◆第27回 あびこ国際交流まつり
 日25日(日)11時～16時
 問我孫子市国際交流協会 ☎7183-1231
 ◆第61回 我孫子市民文化祭 さつき秋季展
 日30日(金)～12月3日(月)10時～17時(初日13時～)
 問橋 ☎7149-1343

図書館 1日(木)～30日(金) 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
湖北台分館
 ◆水彩画「ねこたち」4点(F10号) 塩原壯太
布佐分館
 ◆菜の花会 編み物作品展 松永ナナ子と菜の花会

アビスタストリート 開館時間：9時～21時 休館日：26日(月)
 ◆リトルターンアートプロジェクト作品展
 日3日(祝)9時30分～4日(日)15時30分
 問手賀沼課 ☎7185-1484

けやきプラザ 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
第1ギャラリー
 ◆毛筆・四ツ葉会作品展
 日～4日(日)10時～18時(最終日16時まで)
 問渡部 ☎7172-1773
 ◆市内高齢者デイサービス利用者作品展
 日16日(金)12時～17時・17日(土)10時～16時
 問介護実習センター ☎7165-2886
第2ギャラリー
 ◆カラフルニット展
 日7日(水)～11日(日)10時～17時(最終日16時まで)
 問右近 ☎090-2217-2682

アビシルベ 問 ☎7100-0014
 開館時間：日～木曜日9時～18時、金・土曜日9時～19時
 ◆JBF PRイベント「ちょっと先取りJBF」
 日～5日(月)
 ◆第61回 市民文化祭書道展PR
 日5日(月)～7日(水)
 ◆東葛駅伝写真展
 日8日(木)～15日(水)
 ◆アビストリーム「アビスト de Night☆」LIVE放送
 日16日(金)18時～19時
 ◆平和の集い展示
 日22日(火)～12月2日(日)

けやきプラザ県民講座・講習
 ◆腸美人で超健康に
 日7日(水)
 講師 若山美砂子さん(千葉県ヤクルト販売(株)食生活アドバイザー)
 ◆シニアのためのおもてなし講座
 日21日(水)
 講師 古川智子さん(さくらコミュニケーションズ代表取締役)
 ◆認知症予防のためのアロマセラピー
 日28日(水)
 講師 大木いづみさん(ナチュラルアロマチカ代表 フィット・アロマセラピスト)
 〈共通〉
 時間 13時30分～15時30分
 所 7階研修室

けやきプラザ県民講座・講習 問・問 電話で住所・氏名・電話番号を明示。千葉県福祉ふれあいプラザ ☎7165-2886 受講料 無料(要申込・先着順) 休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日火曜日) ※専門職対象県民研修はホームページwww.furepla.jpをご覧ください。



我孫子の魅力を再発見
楽 我孫子のいろいろ八景歩き 第2弾

「我孫子の景観を育てる会」のガイドを聞きながら、まち歩きを楽しみませんか。市内でも有数の景観スポットや隠れた名所を巡ります。
●「古道をたどり森と水辺が招く古利根コース」約4.5km
 日時 11月15日(休)午前9時30分(湖北駅改札前集合)
 内容 貴重な自然景観が残る古利根公園・自然観察の森、芝原城跡、古利根沼を散策します。帰路は法岩院、中峠亀田谷公園に立ち寄ります。



▲古利根沼



▲気象台記念公園

●「布佐・新木三大緑地公園コース」約4.5km
 日時 11月22日(休)午前9時10分(布佐駅改札前集合)
 内容 宮ノ森公園、布佐南公園、気象台記念公園と、それらをつなぐまちなみや緑道を散策します。布佐の鎮守・竹内神社にも参拝します。
 〈共通〉 正午頃、集合場所付近で解散
 定員 各コース先着20人※雨天中止、小雨決行
 費用 無料
 申・問 11月2日(金)～都市計画課景観推進室 ☎7185-1529

第27回 日立総合経営研修所庭園公開 ～紅葉の庭園を巡る～

(株)日立総合経営研修所のご厚意で、紅葉の庭園と手賀沼の眺めをお楽しみいただけます。
 日時 12月1日(土)午前10時～午後3時30分(入場は3時まで)
 ※雨天時2日(日)
 場所 日立総合経営研修所(高野山485)※駐車場なし。ペット、飲食物の持ち込み不可
 内容 先着400人に庭園公開の葉をプレゼント。お茶のサービス、コカリナの演奏、「白樺派のカレー」の販売(700円、限定200食)
 ※内容は変更する場合あり
 費用 100円(小学生以下無料)※申込不要
 主催・問 我孫子の景観を育てる会 ☎090-6034-9149



当日のボランティアスタッフを募集
 時間 午前8時～午後5時(昼食付き)
 内容 受付、来場者案内、お茶のサービスなど
 定員 先着10人
 申・問 11月15日(休)までにはがき(消印有効)・ファクスで住所・氏名・年齢・電話番号を明記。
 〒270-1154白山3の8の9の204飯田俊二 ☎7185-2930 ☎090-5512-6223

あびこ散策 82

みなさん、こんにちは。今回は葺不合神社(新木1811)から国道356号線を東に向かい、新木駅入口信号を右に曲がって、柏市へと続く坂を下ります。
 坂の下に広がる田んぼはかつて全て手賀沼でした。享保12(1727)年に、江戸幕府の主たる収入であった米の収穫を増やすため、手賀沼の下流、いわゆる下沼を開墾する計画がありました。この享保期の手賀沼干拓は幕府が直接関与せず、江戸の商人高田友清が出資し、手賀沼を分ける堤をつくったことから、千間堤は高田堤ともいわれています。堤は享保14年に完成し、沖田村(我孫子市)から布瀬村(柏市)まで約1kmありました。そして、現在では浅間橋として、その名は続いています。千間堤の由来である「間」は長さの単位です。1間は約1m80cm、千間だと1800mです。1kmより長くなりますが、堤のあった沼の深さは3m。水面より1mの高さがあった堤を築くのは、大変な労力がかかったことでしょう。
 残念ながら堤は、竣工した5年後の享保19年の洪水で一部が崩れ、機能なくなりましたが、堤跡は昭和40年代に行われた戦後の手賀沼干拓まで残り、現在は生活に必要な道となっています。

▲明治14年ごろの地図

▲現在の地図